

いかるが
斑鳩



11月号の目次

- 2 パゴにつき
- 4 平成29年度決算報告
- 10 斑鳩文化財センターだより
- 11 図書館だより
- 12 住民活動センターだより
- 13 ゼロ・ウェイストのまち
斑鳩の実現に向けて
- 14 まちの情報
- 18 保健センターだより



平成29年度 決算報告

史跡中宮寺跡



平成29年度の
主な事業を
紹介します

いにしえ浪漫街道ツーデーウォーク



いかるがホール開館20周年記念フェスタ



まち、いかるが。

③ 潤いある魅力的なまちづくり

- コミュニティバス2台による実証運行の実施
- 歴史的な町並みを形成するため、周囲と調和した修景整備を行う人に対する支援を実施
- いかるが溜池の環境整備事業の一環として、護岸を整備
- 都市計画道路法隆寺線の本線部分の整備
- セナガ橋の長寿命化工事の実施

④ 安全で快適なまちづくり

- 防災情報をまとめたハザードマップの作成
- 通学路などへの防犯カメラの設置
- 防災情報メールの内容を電話やFAXで確認が可能となる災害情報伝達システムの導入

⑤ 活力とにぎわいのあるまちづくり

- 創業などを支援する補助金制度を創設するとともに、創業支援員による相談や創業支援セミナーを実施
- 観光客へスムーズな案内を行うため、観光案内サインを法隆寺周辺に2カ所設置
- マルシェ・宿泊施設等のまちあるき観光拠点を法隆寺周辺に誘致するため、法隆寺観光自動車駐車場に隣接する遊休地を購入

⑥ ともに築く協働のまちづくり

- 協働のまちづくり活動提案制度により、住民活動団体などの事業に補助金を交付
- 住民票などの証明書がコンビニで受け取り可能となるサービスの提供



生き生きプラザ斑鳩
開館10周年記念イベント



商工まつり



介護予防教室



気球あげアゲ↑
ナイト2017



じゃがいも掘り体験

笑顔あふれる

① 文化の香り高く心豊かなまちづくり

- 史跡公園として中宮寺跡の整備完了
- 生駒郡内の聖徳太子ゆかりの史跡・名勝などを巡るツーデーウォークの開催
- 法隆寺食封ゆかりの各都市と連携するサミットの開催
- 電子書籍の購入による電子図書館サービスの充実
- 家庭の洋式トイレの普及に伴い、小学校の和式トイレの一部を洋式化
- 斑鳩小学校渡り廊下などの耐震補強工事の推進
- 斑鳩東小学校照明設備のLED化
- 小・中学校の各家庭への給食補助金を増額

② すこやかに生き生きらせるまちづくり

- 町の健康づくりイベントの参加などに応じて、景品と交換可能なポイントを得ることができる、健康マイレージの導入
- 乳幼児B型肝炎予防接種の対象者拡大
- 出産後間もない産婦に対する健康診査受診費用の助成
- 斑鳩黎明保育園の増築に係る費用を支援
- 子育て応援宣言の策定
- 母子保健コーディネーターが妊娠期から育児期までサポートする、子育て世代包括支援センターを開設
- 各学童保育室において、延長保育を実施
- 幼稚園における弁当給食を、温かい給食へ変更し、給食の回数を増加。給食補助金の新設。

斑鳩町の 財政状況

9月の町議会定例会で認定された平成29年度決算とそれにもとづく財政健全化判断比率を報告します。

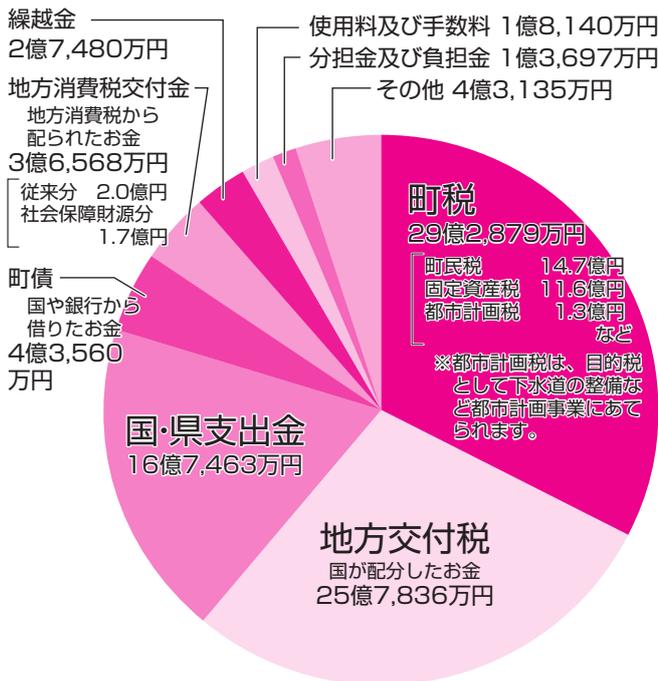
【問合せ】財政課（☎内線253）

一般会計決算

歳入

90億 758万円

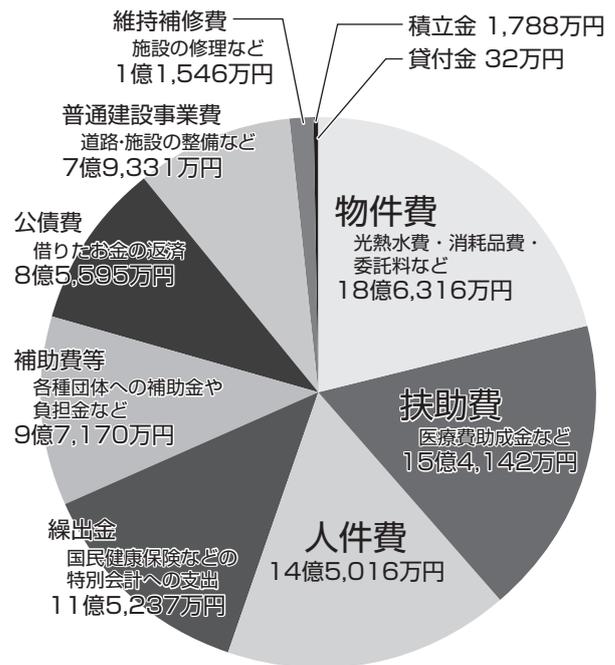
前年度に比べ5,101万円、0.6%増加しました。



歳出

87億6,173万円

前年度に比べ7,996万円、0.9%増加しました。



健全化判断比率

いずれの指標とも国の基準を下回り、財政状況は健全であるという結果が出ました。

健全化判断比率	財政健全			財政悪化	
	斑鳩町の指標	早期健全化基準 (黄色信号)	財政再生基準 (赤信号)	実質赤字比率	連結実質赤字比率
実質赤字比率	赤字なし (平成28年度赤字なし)	14.48%	20%	■ 実質赤字比率 一般会計などの赤字が経常的な収入に占める割合	■ 連結実質赤字比率 すべての会計の赤字が経常的な収入に占める割合
連結実質赤字比率	赤字なし (平成28年度赤字なし)	19.48%	30%	■ 実質公債費比率 地方債（国や銀行などからの借入金）の返済額が経常的な収入に占める割合	■ 将来負担比率 将来負担することになっている負債額が経常的な収入に占める割合
実質公債費比率	6.8% (平成28年度6.5%)	25%	35%		
将来負担比率	56.7% (平成28年度38.6%)	350%			

■ 財産の状況

財産の種類	平成29年度末現在高
土地	357,723㎡
建物	89,888㎡
有価証券	104万円
基金	35億4,943万円
財政調整基金	18億7,403万円
減債基金	2億1,602万円
福祉基金	3億3,539万円
文化振興基金	8,669万円
斑鳩の里歴史文化遺産保存・活用基金	2,773万円
スポーツ振興基金	2,095万円
土地開発基金	7億5,075万円
国民健康保険財政調整基金	7万円
介護保険給付費準備基金	2億3,780万円

■ 会計別決算

会計名	歳入決算額	歳出決算額	収支差引額
一般会計	90億 758万円	87億6,173万円	2億4,585万円
国民健康保険事業	35億5,467万円	38億 242万円	▲2億4,775万円
公共下水道事業	13億5,922万円	11億 557万円	2億5,365万円
介護保険事業(保険事業勘定)	22億6,980万円	21億3,935万円	1億3,045万円
介護保険事業(介護サービス事業勘定)	1,177万円	1,011万円	166万円
後期高齢者医療	4億1,623万円	4億1,554万円	69万円
合計	166億1,927万円	162億3,472万円	3億8,455万円

※表中の金額は、表示単位未満を四捨五入して表示しているため、合計、差し引きとその内訳が一致しない場合があります。

※公共下水道事業における収支差引額は、平成30年4月1日から地方公営企業法の一部を適用し、平成30年3月31日をもって打ち切り決算を行ったことにより発生した未払金相当額で、平成30年度に支出しています。

■ 町債の状況

会計名	平成29年度末現在高
一般会計	89億9,881万円
特別会計	86億2,616万円
合計	176億2,497万円

平成29年度 一般会計・各特別会計決算審査

■ 審査の結果

平成29年度斑鳩町一般会計および各特別会計の歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調査および財産に関する調査の各計数は、関係法令に準拠して調製され誤りのないものと認められた。また、各基金の運用状況についても計数に誤りなく、適正に運用されているものと認められた。

平成29年度 斑鳩町財政健全化審査の結果

■ 審査の結果

審査に付された健全化判断比率・資金不足比率およびその基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成され、健全化を判断する比率については問題ないものと認められた。

詳細については、町ホームページまたは役場2階情報公開総合窓口をご覧ください。

監査委員室 (☎内線3005)

広報クイズ

Q インフルエンザの予防方法の1つです。「バランスの〇〇食生活」〇〇に入る文字は何でしょう。

(11月14日(水)必着)

応募方法 はがきにクイズの答え、住所、氏名、電話番号を書いて、「〒636-0198 斑鳩町役場・広報クイズ係」まで。正解者のなかから、抽選で2人に「FIVE PAGODA」で使える商品券(1,000円分)をプレゼントします。プレゼントの当選は、発送をもってかえさせていただきます。

● 10月号広報クイズの答 ふらっぴん♪ (応募総数12)

町政や広報についての意見・ご要望も、お書き添えください。

町民憲章

(平成9年5月9日制定)

わたしたちは、聖徳太子ゆかりの斑鳩のまちに住むことを誇りとし、「和」の精神を尊び、明るく豊かな郷土をつくります。

- 一、歴史と文化を大切に、貴重な遺産を次の世代に伝えます。
- 一、恵まれた自然との調和をはかり、やすらぎのあるまちにします。
- 一、人権を尊重し、心のふれあうまちをめざします。
- 一、ともに生き、ともに学び、未来を拓く活力のあるまちにします。
- 一、知恵と力を出し合い、住みよいまちを築きます。



◀ 町の鳥「いかる」



平成29年度 水道事業会計決算

問合せ
上下水道課
☎0745
⑦1401

平成29年度の決算額は、収入が7億1,941万4,572円、支出6億7,113万6,916円、差引4,827万7,656円（前年度純利益4,787万4,363円）の当年度純利益となりました。

■ 事業の概要

	平成29年度	平成28年度	
総給水戸数	11,064戸	10,967戸	
総給水量	3,022,078m ³	3,003,193m ³	
内訳	県水	2,000,409m ³	2,011,902m ³
	自己水	1,021,669m ³	991,291m ³
総有収水量	2,832,030m ³	2,828,251m ³	
有収率	93.7%	94.2%	

県営水道の依存率は約66.2%です。
有収率は、給水量に対して、料金収入となる水量の割合で、有収率が高いほどムダな水が少ないことになります。（平成28年度全国平均は90.2%）

■ 建設改良工事の概要

・配水設備改良工事

工事延長 2,742m
工事費 238,153千円

・浄水場設備改良工事 21,168千円

・取水設備費 2,351千円



■ 有収率の推移

年度	斑鳩町 (%)	全国平均 (%)
23	95.4	89.5
24	94.2	90.0
25	95.0	90.1
26	94.2	89.8
27	94.6	90.0
28	94.2	90.2
29	93.7	—

■ 経理状況

イ. 損益計算書【平成29年4月1日～平成30年3月31日】

(単位：円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
[1] 水道事業費用	671,136,916	[1] 水道事業収益	719,414,572
(1) 営業費用	645,867,281	(1) 営業収益	636,646,122
(2) 営業外費用	25,269,635	(2) 営業外収益	82,763,010
(3) 特別損失	0	(3) 特別利益	5,440
[2] 当年度純利益	48,277,656		
合計	719,414,572	合計	719,414,572

ロ. 貸借対照表【平成30年3月31日現在】

(単位：円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
[1] 固定資産	5,382,663,001	[3] 固定負債	1,270,647,536
(1) 有形固定資産	5,380,894,501	(1) 企業債	1,261,147,536
(2) 無形固定資産	250,500	(2) 特別修繕引当金	9,500,000
(3) 投資	1,518,000		
		[4] 流動負債	213,772,393
		(1) 企業債	69,475,106
		(2) リース債務	93,443
[2] 流動資産	497,126,274	(3) 未払金	126,488,547
(1) 現金及び預金	347,626,731	(4) 引当金	5,039,890
(2) 未収金	144,107,949	(5) その他	12,675,407
(3) 貯蔵品	5,391,594		
		[5] 繰延収益	2,277,006,773
		(1) 長期前受金	2,277,006,773
		(資本の部)	
		[6] 資本金	780,913,446
		(1) 自己資本金	780,913,446
		[7] 剰余金	1,337,449,127
		(1) 資本剰余金	116,481,293
		(2) 利益剰余金	1,220,967,834
合計	5,879,789,275	合計	5,879,789,275

■ 審査の結果

平成29年度 水道事業会計決算審査

平成29年度斑鳩町水道事業会計決算書類は、関係法令に準拠して作成され、当事業年度の経営成績および当事業年度末の財政状態を適正に表示しているものと認められた。

水道事業は今後も短期間において問題はないと思われるが、営業損失が4年連続して赤字となっているのが気掛かりである。平成26年度に地方公営企業会計制度の改正によりみなし償却制度が廃止されたことから、建設改良費などの固定資産の減価償却を補助金などを含めた取得価格により行うこととなったため費用が増加したのであるが、水道管の更新にかかる費用に補助金を活用できないのであるれば会計基準の変更が実態を反映したものであるといえる。このことから、将来的に次のことについて検討する必要がある。

- ① 赤字構造か黒字構造か
- ② どの程度公的支援に依存しているか
- ③ 費用削減できる項目はないか
- ④ 適切な料金水準はどの程度か

詳細については、町ホームページまたは役場2階情報公開総合窓口をご覧ください。

監査委員室（☎内線305）

平成29年度 国保特別会計 決算

問合せ
国保医療課
(☎内線114)



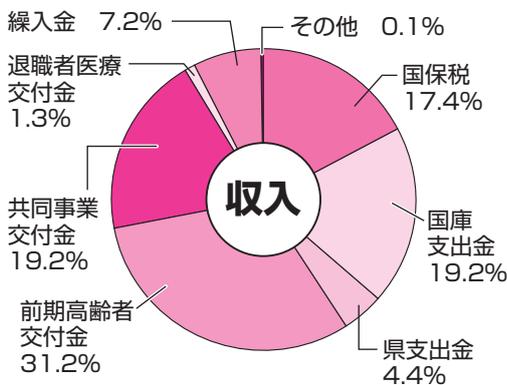
国民健康保険（国保）は、病気やケガに備えて被保険者のみなさんがお金を出しあい、医療費を負担しあう、助けあいの制度です。
今回は、国保の財政状況についてお知らせします。

● 国保の財政状況

国保の財源は、被保険者（世帯主）が納付する国保税や国、県などの補助金や交付金などから成り立っています。国保税は、収入全体の約17%を占めており、国保運営には欠かせないものです。

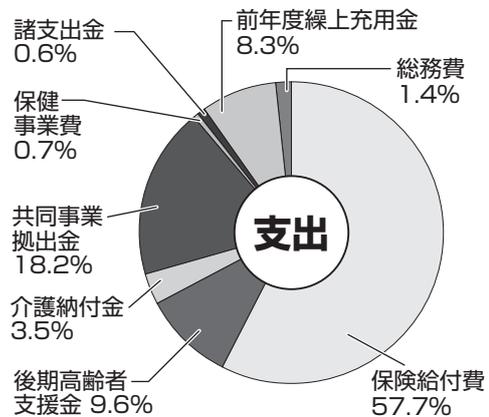
平成29年度決算では、前年度繰上充用金（累積赤字分）が歳出の約8%を占め、2億4,775万9千円の赤字となりました。単年度収支では、一般会計からの繰入（約1,470万円）を含めると約6,756万4千円の黒字となりましたが、引き続き累積赤字が大きく、厳しい財政状況が続いています。

歳入 35億5,466万5,000円



平成29年度
決算状況

歳出 38億242万4,000円



● 医療費の状況

平成29年度国民健康保険の1人あたりの医療費は40万591円です。

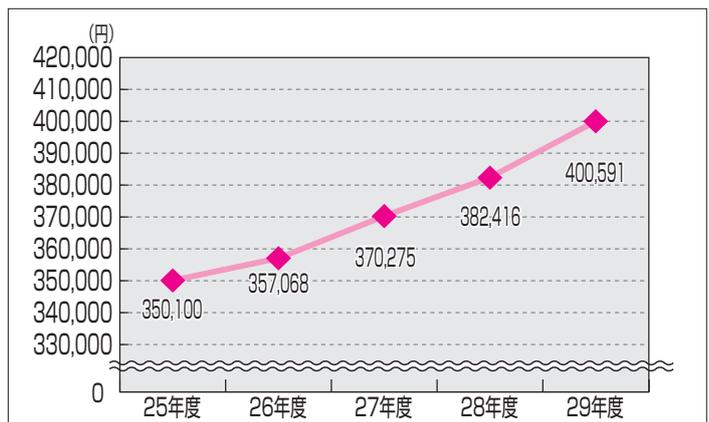
被保険者の高齢化や医療の高度化などにより、1人あたりの医療費はここ数年間増加傾向にあります。このまま増加が続くと、今後さらに国保財政は厳しい状況となる恐れがあります。

被保険者一人ひとりが、医療費の削減のために、健康管理や適切な医療受診など自分にできることから取り組みをお願いします。

● 医療費削減の取り組み

- ① 同じ病気で、複数の医療機関を受診する「重複受診」はやめましょう。
- ② かかりつけ医を持ちましょう。
- ③ ジェネリック医薬品を利用しましょう。
- ④ 柔道整復師（接骨院・整骨院）は正しくかかりましょう。
- ⑤ 健康診断を受けましょう。

1人あたりの医療費の推移



● 国保財政の健全化に向けた取り組み（収納体制の強化）

税の負担の公平性を確保するため、特別な事情もなく保険税を滞納している滞納者には、財産の差し押さえなどの滞納処分を含め、厳正に対応しています。

一方で、失業、多重債務などの事情により国保税を納付することが困難な人については、生活状況などを聞いて、事情を考慮して対応いたします。相談を希望する人は、国保医療課へご連絡ください。